

みどりのゆび

諏訪中央病院グリーンボランティア通信 No.128号 2023年5月17日発行

学習会について

例年通り、1月は鎌田實先生、3月は萩尾エリ子先生のお話を伺いました。

2月は、初めてのチャレンジで、ガーデンプランニングのメンバーが中心となり、過去と最近の庭の様子を写真で振り返り、現在の課題やこれからの取り組みについて提案を行いました。また、新たに段ボールマルチを行うことも提案されました。

その後、5つのグループに別れ、提案内容について意見交換を行いました。主な意見は、段ボールマルチで除草作業を軽減して苗を増やしたり手入れなどの時間を楽しみたい、日向と日陰の場所を考え植物を選んでいくのはよい、病院の庭なので毒がある植物は避ける方がよい、などの意見が出されました。

☆鎌田實先生のお話の要旨

「これから気を付けていくこと」「コロナ、災害に負けない生き方」について話され、特に人と関わることの大切さや、筋肉貯金の大切さなどを強調されていました。

☆萩尾エリ子先生のお話の要旨

つらい時や嬉しい時など様々な状況において、庭は植物に触れて香りを楽しんだり、みどりの庭の風景を眺めたり、そっと木陰で一人で過ごすなどができる場所であり、これらが人の心や体に良い影響を及ぼす。諏訪中央病院の庭は、その機能を生かして欲しいとのお話がありました。 [山縣]



東ガーデンに段ボールマルチ

月日が経つにつれてガーデンの景色も変化し、この数年は雑草（繁殖力の強い植物）におおわれ、残念ながら時季によっては少々荒れたように見える所もありました。そこで今年2月の学習会では園芸の色々な情報を取り寄せ、プランニングからの雑草対策として「段ボールマルチ」を試してみたいと提案しました。

その方法は学習会資料にもありますが、光合成で増える草を抑えるため

- ・しっかり濡らした段ボールをある程度整地した場所に敷き詰め
 - ・その上に花壇の中にはバーク堆肥、小道にはウッドチップをかぶせる
- という方法でした。段ボールの量が思っていたよりたくさん準備しなくてはいけなかったことやウッドチップやバーク堆肥を運ぶ体力がいる作業でしたが、

会員の方々のご協力のお陰で東ガーデンの草でおおわれていた小道が広く美しい小径に生まれ変わりました。感激です！ありがとうございました。これからはよく踏むことで次第に段ボールが朽ちて土になることでしょう。 [刈谷]



『みんなの声』から

『みどりのゆび 125号』（2022年9月14日発行）で皆さんから活動のアイデア・質問・意見・エピソード等を募集したところ、いろいろな『みんなの声』が寄せられましたので、紹介します。

1. 作業や時間について

- ・押切作業などで時間をオーバーすることが多いが時間内に終了したい。
- ・開始時間は9:00でよいのではないか。
- ・作業の繁忙期には水曜日だけでは足りないので予備日を設けてはどうか。
- ・時間を決めて全員で集中して草取りを行ったり、作業に必要な人数を補うなどの工夫が必要。
- ・コロナでランチや見学会がなくなって残念。再会してほしい。

2. 庭について

- ・屋上庭園に来られる患者さんは花を見るのを楽しみにしている。“持ち込まない”というルールがあるなら、苗の購入枠を増やしてほしい。家の苗を持ってきてもよいのでは。
 - ・草花を見て、その名前がすぐわかるように名札をつけてほしい。
 - ・蝶が集まる庭を育てるのはどうか。「クララ」にはオオルリシジミ、ワレモコウには他のシジミチョウが来るそうだ。
 - ・『ハーブガーデン』にハーブが欠かせないというのはわかるが、その定義は広く曖昧で人によっても捉え方が違うので、意見の相違や軋轢を感じることもある。25年の時間経過、昨今の気候変動などで植物相も変わってきている。ハーブにこだわり過ぎず、今の環境にあった庭へ柔軟に変化させたほうがよい。そのためにも、見学会や勉強会で知識の共有ができるとうよい。
- 以上、いろいろなご意見がありました。既に今年度の活動に活かしているものもあります。その他のものについても、皆で検討し、今後の活動に活かしていければ、と思います。

***** バザーのお知らせ *****

今年も春のグリーンバザーを開きます。コロナの緊急事態宣言の終了が発表されましたが、昨年どおり屋外で行います。

6月6日(火) 13:00～ バザーのための花束作り

使える切り花などがある方は当日お持ちください。

6月7日(水) 10:00～11:30 グリーンバザー開催

ボランティア集合時間 9:00

